

優先順位	1
------	---

(仮称) 佐鳴湖西岸出張所建設事業について

消防局消防総務課

1 目的

効率的な署所配置により効果的な消防体制を実現させるため、現在、入野地区を管轄する雄踏出張所を消防隊、救急隊を配置する中規模出張所として移転新築し、特に当該地区における救急サービスの迅速化を図る。

2 事業内容

(1) 庁舎規模

建築規模 鉄骨造 2 階建て 延べ面積 800 m²
配置人員 12 人
配置車両 消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台
将来 22 人を配置し、消防タンク車を加えた 3 車両配置とする。

※33 分団併設の場合 延べ面積 150 m²増

(2) 所管課見積額

建設事業費 397 百万円

(3) その他

雄踏出張所は、浜松市消防団西区支団の浜松第 45 分団庁舎に活用
雄踏出張所(S58.3 竣工)
敷地 1,204 m² 庁舎延べ 331.7 m² 配置人員 12 人 消防ポンプ車

【協議要旨】

- ◆ 消防・救急の出動実績から対応状況(各署・出張所の到着時間によるカバーエリア)を確認し、出張所建設候補地の選定を進める。

優先順位	2
------	---

消防・救急無線デジタル化事業について

消防局情報指令課

1 目的

電波法に基づく周波数割当計画により、消防活動上必要な消防救急無線について、平成 28 年 5 月 31 日の移行期限までに、全市域一斉に整備を図るものである。

2 事業内容

(1) 市地域防災無線との共用

消防救急無線のデジタル波は、地域防災無線と同じ周波数帯（260MHz 帯）であることから、鉄塔及び局舎等の共用を図るものである。このため、地域防災無線の整備を先行することが必須である。

(2) 消防救急無線デジタル化設計

デジタル方式への移行期限までに整備を完了させるため、今年度は基本構想を策定し、平成 23 年度の基本設計において、整備計画及び事業規模等を算出する。

(3) アナログ無線の使用

現行のアナログ方式の無線設備、機器等についてはデジタルに移行するまで使用する。

(4) 消防の広域化

県の消防救急広域化推進計画を踏まえ、無線の共同化等について協議、検討する。

3 事業計画

平成 22～27 年度

デジタル化基本構想の策定、基本設計、実施設計、整備工事など

【協議要旨】

- ◆ デジタル化に係る機器の購入に当たっては、経費削減について検討を進める。